

まえがき

今回、多くの先生方の御協力をいただき、それぞれの専門領域の中から基本となる問題を作成し、ここにまとめ上げることができた。各執筆者が日々指導する中から見出した学習の「要」を軸にして、臨床に出る若い人たちの最後の仕上げに格好のワークブックが完成したと自負している。このように全科を網羅した問題集は他に例を見ないであろう。

理学療法は対象者の疾患の治療から社会生活支援まで、幅広い領域をカバーしている。臨床において理学療法士は、まずはゼネラリストとして、どの領域についても万遍なく幅広い知識・技術を身につけていなければならない。また、理学療法は対人関係の職業であり、良好なコミュニケーションを成立させるためにも確実な知識・技術を備えている必要がある。

本書を企画した目的は、学生の皆さんが知識をただ詰め込み覚えるだけでなく、それらの知識を具体的な場面で有効利用して考える力を身につけることにある。考える力が身につくと、さまざまな臨床の局面で臨機応変に対応できるようになると信じるからである。

今回収録された設問集は各領域の一部にすぎないが、これらを考え解くことにより、理学療法を実際に行う時の足がかりが得られるはずである。「学校から臨床への橋渡し」としてこの本が役立つことを願っている。

2012年2月

監修者記す

目次

問題編

1	解剖学.....	2
2	生理学.....	4
3	運動学.....	8
4	理学療法評価学.....	12
5	運動療法学.....	15
6	物理療法学.....	17
7	日常生活動作学.....	20
8	筋骨格系理学療法学.....	23
9	神経系理学療法学.....	27
10	内部障害系理学療法学.....	32
11	義肢学.....	36
12	装具学.....	37
13	発達障害学.....	40
14	理学療法技術論.....	45
15	地域理学療法学.....	49
16	生活環境学.....	51
17	安全管理論.....	55

解答編

1	解剖学.....	58
2	生理学.....	63
3	運動学.....	68
4	理学療法評価学.....	78
5	運動療法学.....	86
6	物理療法学.....	90
7	日常生活動作学.....	94
8	筋骨格系理学療法学.....	100
9	神経系理学療法学.....	112
10	内部障害系理学療法学.....	119
11	義肢学.....	128
12	装具学.....	133
13	発達障害学.....	141
14	理学療法技術論.....	151
15	地域理学療法学.....	156
16	生活環境学.....	160
17	安全管理論.....	166